

そうしましよ新聞

高校生のツイート

「...ああ無常」

「私たちに理解できないけれど」。奈良県奈良市東紀寺町にある奈良女子大学附属中等教育学校の男子生徒が困ったようにつぶやいた。十一月四日、教師は男子生徒たちに聞いた。平家物語の無常観とは何か。それを西行の伝説(西行が出家する時、すがり付く子供を蹴落とした)と明治安田生命のCMとこの曲、たしかなこととの関係を1つの視点として考えて欲しい。そしてこの問をした意味は何なのか。といったものだ。



京都にて新聞を作成する初対面の生徒たち！！

彼らは初めに、明治安田生命のCMとその曲、西行の伝説との関係を話題にした。彼らはその関係を、「CMでは、一緒に花火を見たり、ご飯を食べたりという現代の愛し方が表現されており、そんな現代の愛し方があるのに対して、子供を蹴落とすという西行の行為、これも愛情なのだろう。私たちには理解できないけど」と戸惑いながらも結論づけた。この結論は、「時を越えて君を愛せるか」という歌詞と繋がっている。子供への愛し方が乖離している、現代と過去。現代人ははたして時を超え、過去の愛し方が出来るのか、といったことだ。

次は彼らが議論したのは、この問の意味だ。彼らは、「一つの視点や捉え方、考え方に凝り固まらず、多様な視点を持ち、物事を捉え、新たな教育作りに役立てて欲しい」という教師の意図があると結論づけた。「子供の愛し方には、現代も昔でも、メリットとデメリットがあったはず。しかし、現代も昔もそんなことは気にしていない」という生徒の吹きが、凝り固まった考え方の存在を彼らに暗示させた。さらに、結論づけた後で、ある生徒は、「これからは、今の教育のメリット、デメリットを知り、そのデメリットをメリットにしてい

発行 学園高校
そうしましよ新聞社
中村 峻哉
吉本 翔太
杉本 雅平
川邊 智大

発行所
〒616-8036
京都市右京区
花園寺ノ中町8
代表番号 (075)
461-5105

とい



く」と残した。そして最後は、無情とは何かを考察して、無常観を読んだ西行の和歌や出家とは何か、デジタル新聞を使った現代の無情など、様々な視点から考えられ、彼らが全体で出したのは、「無情とは、永遠には続かないこと。そして、良い意味と悪い意味がある。例をあげれば、誰しも衰え、絶えてしまう。確かにそれは悪いことかもしれない。が、散り行く桜に湧き起こる、儚さや美しさといった感情や、苦しい状況や悪いことも、いつまでも続かないといった、希望を感じさせる意味も持つ」とい

社説 読むだけ無駄な駄作

私達は高校とK高校、そして自分達の授業を映像で鑑賞させていた。皆ばらけた意見だったがその中にも多かったものは教師の作った「箱」の大きさ、物事を多角的に考える力、更には新たな「箱」を作り出す、なんていう意見もあった。ただ疑問に思うのは「ばらける」ということは教師の皆さんが考えたプロジェクトの意味という問いの最適解に全ての意見がなるのだろうか？この疑問が正しいのであれば我々はこのプロジェクトでも教師の手で「自分達で考えている」と思いきや踊らされているに過ぎないという事になってしまう。もちろんこの考えは盛大に間違っているかもしれない。別に私はありふれた考えこそが至上とされているわけではない。ただ、「ありふれている」ということはそれだけ多くの人が考えている証拠でもあるのだ。つまり「普通」

桜の一言

日本文学を長年研究しているアメリカ出身のドナルド・キーン氏は、「同じ状態が続かないこと」を「無常」と表現する。日常生活の中でも大切に使用していたお皿が割れたり、飼っていたペットが死んだりなど、絶えず出会いと別れを繰り返す。その時、日本人は悲しみに受け止めず、はかなさの中にも美しさを感じるのである。かつての日本人の文化は、「猿まねの文化」と言われていたが、現在の日本の文化は、「世界の中に入り、現代の世界の文化をより豊富なものにしていく。▼世界では、桜を愛でる文化はあまりない。各国では、桜に代わる春を感じさせる花がある。例えば、アメリカのカリフォルニアでは、ポピー、ニュージーランドでは、ラッパスイセンというように、それぞれの国で違った価値観がある。日本人は、桜が散ることで「はかなさ」を感じるが、海外の人はそうではない。むしろ、外国人は桜が散ることで「死」を感じるという。しかし、日本から友好の印として贈られた桜が、春を感じさせるきっかけになっている。桜が満開になれば、花を見ながら歩くなど楽しむ文化がある。また、日本を訪れた外国人は、桜の季節に「花見」をする。これも日本の文化が世界に受け入れられている証拠であろう。▼日本では、桜をテーマにした曲がたくさんリリースされている。海外には、桜をテーマにした詩や曲はほとんどなく、愛や痛みを表すバラをモチーフにした詩が多いという。桜は日本の国民性を象徴するといっても過言ではないくらい特別な花だ。桜ソングの例として、FUNKY MONKEY BABYSの「桜」とい

だろが「特異」だろが1つの問いに対する答えにはあまり意味を為さないと思う。「人の幸せとは」みたいな答えが無数にある問いにしても然り。いや、そもそもこの問いの意味を考えたところで本当に何か得るのだろうか？ただ時間と労力の消費にしかならず徒労に終わってしまうのではないか？こんなことを考えている内にこういつた思索にふけることで視野を広げられるかもしれない。さて、これを読んでる貴方はこれを読んで何か思ったのだろうか。時間潰し？どうでもいいか？思ったのだろうか？それやあ時間潰しにはなつただろう。こんな駄作を読むのに貴方は何分かかえましたか？しかし世界にはこうした「徒労」や「無駄」があふれかえっていると思う。「徒労」がなければ娯楽なども生まれなかつたかもしれないのだ。つまり、このプロジェクトの意味は「徒労」や「無駄」という視点から世界を見つめ直し自分の価値観を昇華するところに意義があるのではないだろうか。「無常」というテーマを例にして考えていたらそんな気がしてきた。